

マクロ経済学		講義	准教授 小松原 崇史
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門選択科目、会計ファイナンスコースの専門選択科目、経営・経済コースの専門選択科目、教職科目	科目ナンバリング	23222201 25320218

1. 授業のねらい・概要

マクロ経済学についての基本的な考え方を説明する。各国の経済成長の可能性をさぐることが、マクロ経済学の目指していることである。本科目の履修にあたっては、「経済学基礎」を履修済みであることが望ましい。

2. 授業の進め方

講義形式で授業を行う。講義の理解を深めるため、問題演習を行うこともある。学生の理解度に応じて、以下の授業計画は、多少変更する可能性がある。

3. 授業計画

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. マクロ経済学とは | 9. 生産可能性 |
| 2. 経済の所得と支出 | 10. 特化と交易 |
| 3. 国内総生産の測定 | 11. 絶対優位 |
| 4. GDP の構成要素 | 12. 機会費用と比較優位 |
| 5. 実質 GDP と名目 GDP | 13. 比較優位と交易 |
| 6. GDP は経済厚生のよい尺度か | 14. 取引の値段 |
| 7. 前半のまとめと復習 | 15. 後半のまとめと復習 |
| 8. 相互依存と交易からの利益 | |

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講後、その回の内容を復習する。そのためには、毎週 1、2 時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

解答を試験終了後に掲示する。

6. 授業における学修の到達目標

マクロ経済学についての基本的な考え方が理解できるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

期末試験（100%）により評価する。

8. テキスト・参考文献

参考書として、N・グレゴリー・マンキュー著『マンキュー経済学 II マクロ編（第4版）』（東洋経済新報社、2019年）を使用する。

9. 受講上の留意事項

私語を厳禁とする。守れない学生に対しては、直接注意を行い、改善が見られない場合には退出を求める。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。